

1. 付議事案名

新港清掃工場リニューアル工事に伴う
アクアリンクちばの今後の運営方針等
について

(方針決定)

2. 決定事項

- 温浴施設は令和7年度末で廃止する。
- 次期指定管理は、新港清掃工場リニューアル工事前まで、現指定管理者の2年・非公募とする。

3. 政策会議に付議する理由・背景

- 新港清掃工場リニューアル工事（R8～R12予定）に伴い、アクアリンクちばへの電気・蒸気の供給が停止するため、R8以降のアクアリンクちばの運営方針（温浴施設の廃止等）について、決定する必要がある。

4. 方針決定後の課題

- 新港清掃工場リニューアル工事（R8～R12予定）のスケジュールを踏まえ、次々期指定管理期間等を検討する必要がある。
- 供給停止期間の光熱費負担額について現指定管理者と協議が必要

5. 市長マニフェスト等との関連

- 市長マニフェストへの記載 なし
- 第1次実施計画の位置付け なし

6. 対外公表の時期・方法

- 会議資料等の公開 令和5年第4回定例会で関係議案の議決後に公表する。
（情報公開条例第7条第5号審議・検討・協議情報に該当）

7. 関係部局との調整状況等

(1) 関係部局との調整状況

調整年月	関係課名	調整内容概要
R5.4	廃棄物施設整備課	リニューアル工事に関する事項
R5.4	建築設備課	設備工事に関する事項
R5.4	業務改革推進課	指定管理に関する事項

(2) 副市長への報告

報告日	副市長名
R4.12.14	大木副市長
R5.4.21	大木副市長
R5.4.28	青柳副市長

8. 添付資料

- 新港清掃工場リニューアル工事に伴う「アクアリンクちば」の今後の運営方針等について

令和5年5月23日
市民局生活文化スポーツ部
スポーツ振興課

新港清掃工場リニューアル工事に伴う「アクアリンクちば」の今後の運営方針等について

Ⅰ 概要

条例上の設置目的：スポーツの振興及び市民の健康の増進を図る。

■ 事業概要

(1) アクアリンクちばについて

- ・新港清掃工場から電気と蒸気の供給を受け、施設全体の動力源とする余熱利用施設として、平成17年にオープン。
- ・関東地方で8か所ある通年リンクの1つであり、R4の年間利用者数は、約14万人（コロナ前のH29は約23万人）と、スポーツ施設中2番目（H29は3番目）に多い。
- ・指定管理者による管理・運営を行っているが、事業者の独立採算制による運営を行っており、指定管理料の市の負担はない。
- ・個別施設計画において、計画的保全施設となっており、計画に基づき、R1～R2に吊り天井・空調改修を実施している。

(2) 新港清掃工場のリニューアル工事について

- ・R8～R12の5年間（予定）、環境局による清掃工場のリニューアル工事が予定されており、アクアリンクちばへ供給されていた電気と蒸気が停止する。このため、アクアリンクの施設機能維持のための動力源を確保する必要がある。

Ⅰ 概要

(3)現在の指定管理の状況

➤ 指定管理者の選定は、独立採算制による指定期間10年※の公募で実施してきている。

※指定期間を10年とする理由

スポーツ施設の指定期間は通常5年で実施しているが、当施設は独立採算制としており、指定管理者が負担する冷凍機や製氷機等の設備に関し、減価償却期間等を考慮する必要があるため。

【指定管理者実績】

期間	指定管理者	入札参加者
H16～H25	(株) レジャーインダストリー	(株) パティネ商会 * (株) レジャーインダストリー * * 2社がH24に合併し、 (株) パティネレジャーに改名
H26～R5	(株) パティネレジャー	(株) パティネレジャー

概要

■ 課題等

(1) 検討項目

- ① 運営方針（施設全体の運営方針検討、運営コストの比較）
- ② 指定管理者の選定方法・期間（現指定期間：H26～R5）

(2) スケジュール

	R5	R6	R7	R8～R12	R13～
アクアリンク 機能維持	実施設計	設備工事		アクアリンク 自立稼働	設備 撤去工事
電気・蒸気 (動力源)	電気・蒸気供給あり			電気・蒸気供給なし	供給再開
指定管理	現指定管理者 (～R5)				
条例改正 (温浴廃止の 場合)	第4回 定例会				

2 運営方針の検討

■ 結論

- ① 温浴施設は令和7年度末で廃止する。
- ② 次期指定管理は、新港清掃工場リニューアル工事前まで、現指定管理者の2年・非公募とする。

■ 今後の調整事項

- 温浴施設廃止により指定管理者の収益改善が見込まれ、電気・ガスの供給停止期間は光熱費として収益改善相当分の負担を求めることを検討。
- 電気代・ガス代のランニングコスト分を利用料金に転嫁することは、利用人数減少を招き、指定管理者制度（独立採算制）の維持が困難になる可能性があり、調整が必要。

2 運営方針の検討

■ スケート場・温浴施設設置経緯

平成 9 年度：市体育協会・市スケート協会・県連盟・県ホッケー連盟より余熱利用施設にスケート場を建設するよう請願が出され、全会一致で採択された。

平成 13 年度：千葉県により余熱利用施設用地の事業者を公募したが、採算が合わないとして応募事業者なし。

平成 14 年度：県企業庁と市の協議で「整備及び管理運営は千葉市。費用負担は県 13 億。用地を 10 年間無償貸付等」で合意。

平成 15 年 5 月：助役会議で「余熱利用施設基本計画及び使用エネルギーについて」を方針決定。スケート場・温浴施設の設置が決定される。

平成 17 年 10 月：指定管理者制度（独立採算制）でオープン。

2 運営方針の検討

■施設全体の利用者数の推移

利用人数（実績）

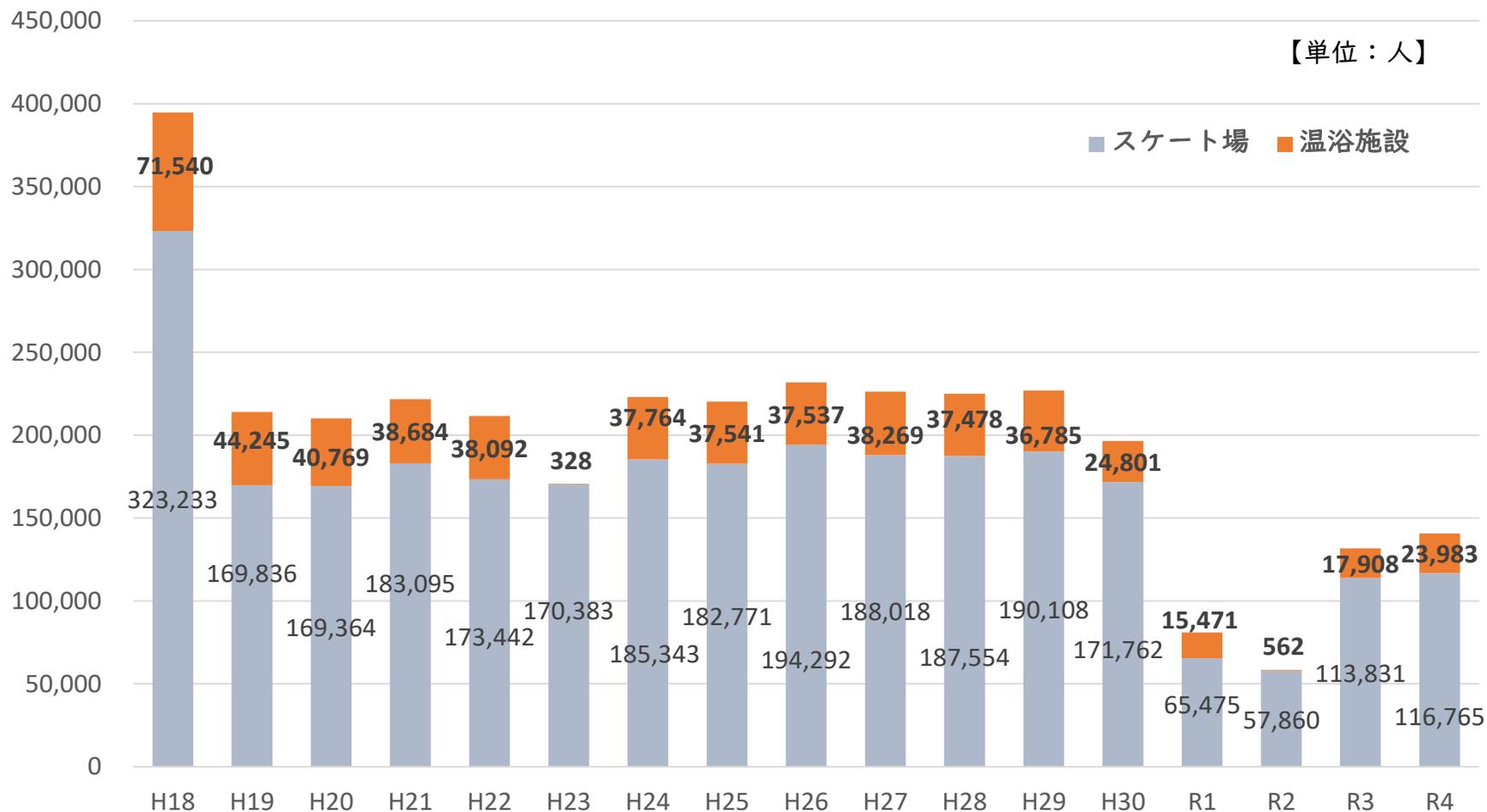
【単位：人】

年度	H25	H26	H27	H28	H29
スケート場	182,771	194,292	188,018	187,554	190,108
温浴施設	37,541	37,537	38,269	37,478	36,785
合計	220,312	231,829	226,287	225,032	226,893

年度	H30	R1	R2	R3	R4
スケート場	171,762	65,475	57,860	113,831	116,765
温浴施設	24,801	15,471	562	17,908	23,983
合計	196,563	80,946	58,422	131,739	140,748

2 運営方針の検討

■施設全体の利用者数の推移



2 運営方針の検討

■スケート場について

現在の利用状況

- ・市民だけでなく、県外からも約半数の利用者がある。
- ・アイスホッケー、フィギュアスケート等の県大会レベルの競技会が開催されている。
 - 例) 関東フィギュア選手権大会、浅田真央サンクスツアー、ファンタジー・オン・アイス（幕張）の練習場、吉岡詩果選手等国内で活躍する方の練習場 等
- ・直近のR4年度は年間利用者が約117,000人、コロナ前の平成29年度は約190,000人。



スケート場の需要は高く、大会利用や練習会場、アイスショー等で多くの利用者に親しまれており、スケート場の継続は必須である。

2 運営方針の検討

■ 温浴施設について

現在の利用状況

- ・ 一般・小中学生以下で半数以上の利用がある。
- ・ 高齢者や障害者の利用が約25%ある。

課題・検討

- 開業以後、ジャグジー等類似の機能を備えた民間施設が開設されており、更に近隣の稲毛海浜公園に温浴施設を建設する計画もある中、本施設の廃止により市民の健康増進を損ねることは考えにくい。（P.16 参考資料）
- 開業以来継続的な赤字運営の中、近年の管理コスト上昇が更に収益を低下させており、今回の新港清掃工場リニューアル工事による熱源供給停止を機に、施設の継続可否について検討が必要である。



温浴施設廃止も踏まえ、運営方針パターン別のコスト比較をした上で検討する。

2 運営方針の検討

■5年間（R8～R12）の運営方針パターン別コスト比較

(1)施設全体（アイススケート場及び温浴施設）を全面営業 【A案】

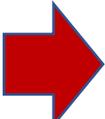
(2)アイススケート場は営業し、
温浴施設はR8～R12に休止後、R13～再開 【B案】

(3)アイススケート場は営業し、温浴施設は廃止 【C案】

2 運営方針の検討

■運営方針パターン別コスト比較（R8～R12）（建築部試算）【単位：千円】

	A案 (全面営業)	B案 (温浴施設休止後、再開)	C案 (温浴施設廃止)
整備費用 (イニシャル)	212,155	183,851	183,851
温浴施設再開 時の老朽化対 応工事費用	—	55,000～316,000 内訳：空調設備工事 164,000 給排水設備工事 55,000 蒸気供給設備工事 97,000	—
運営費用 【ガス・電気代】 (ランニング) ※5年間	271,700	202,405	202,405
合 計	<u>483,855</u>	<u>441,256～702,256</u>	<u>386,256</u>

 **C案**（温浴施設廃止）が最も市の整備・運営コストを抑えられる。

2 運営方針の検討

■ 温浴施設廃止の影響

- 温浴施設はH17の開業以降、赤字施設のため、廃止により指定管理者の収支状況が改善する。仮に市がR8～R12の電気代・ガス代（ランニングコスト）を負担する場合は、その収益増分を充当することにより、市の負担額を減らせる。

温浴施設の収支状況

【単位：千円】

年度	H29	H30	R1	R2	R3
赤字額	▲13,972	▲23,939	▲18,654	▲15,173	▲19,764

温浴施設を廃止しても発生する電気代・ガス代 ※R8～R12（供給停止期間）

年度	R8	R9	R10	R11	R12
電気	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000
蒸気	3,481	3,481	3,481	3,481	3,481
合計	40,481	40,481	40,481	40,481	40,481

2 運営方針の検討

■R8～R12のランニングコスト増加分（年40,481千円） の利用料金への転嫁について

以下、利用料金を条例上限額まで上げた場合の、指定管理者の収入増加分（R3実績人数にて試算）

個人利用 (大人1,100円→1,460円)	専用使用 (20,800円→24,080円)	収入 増加分
13,185千円	3,847千円	<u>17,032千円</u>

⇒条例上限額では、増加分全額の補填はできない。

【問題点】

- 利用料金への転嫁は利用人数減少も想定され、独立採算制での指定管理者がおらず施設休業、又は、条件を変えての再公募で委託料が発生する可能性がある。
- 清掃工場大規模改修という市側の原因で、利用者に負担を強いることになる。

2 運営方針の検討

■ 跡施設について

【課題】

- 温浴施設は約240㎡程度で、跡施設としての活用用途が限られる。
- 令和8年度以降、市で行う撤去・運営費用は、できる限り市負担を軽減したい。

3 次期指定管理者選定方法・期間の検討

➤ 次期選定

- ・新港清掃工場のリニューアルの工事期間は5年の予定である。
- ・短期間の指定管理期間で公募しても、2年間では事業者が負担する設備投資を回収できないため、応募がない可能性が高い。

→新港清掃工場のリニューアル工事期間を踏まえた募集条件等の検討期間が必要なため、現指定管理者(株)パティネレジヤの2年 (R6、R7) 非公募とする。

➤ 次々期選定 (R8以降)

- ・新港清掃工場の工事スケジュールを踏まえたうえで、募集条件（次々期指定管理期間、電気・ガス代増加分の負担等）の検討が必要。

4 参考資料

① 温浴施設比較

アクアリンクちば（2005年～） 一般：500円（時間制限なし）

市内浴場施設（民間）

※お風呂・男女別

- JFA夢フィールド幕張温泉 湯楽の里
（美浜区美浜・2020年～）
大人：平日1,100円、休日：1,350円
- 蘭々の湯（稲毛区園生町・2018年～）
大人：平日900円、休日：1,000円
- 極楽湯 千葉稲毛店（稲毛区園生町・2009年～）
大人：平日900円、休日：1,000円
- 湯の郷ほのか 蘇我店（中央区川崎町・2014年～）
大人：平日1,400円、休日：1,600円
- いわゆる銭湯 430円～480円

市内屋内温水プール（市営）

※水着着用・男女共用

- 北谷津温水プール
一般：300円（2時間以内）※7,8月は220円
- こてはし温水プール
一般：300円（2時間以内）
- 千葉中央CC内プール
一般：300円（2時間：以降1時間毎150円）
※7,8月は220円（2時間：以降1時間毎110円）

4 参考資料

②-1 通年スケートリンク料金比較

アクアリンクの料金設定 (指定管理者の運用料金)

- アイススケート場
大人（貸靴付）：1,500円
内訳 滑走券1,100円*+貸靴券400円
(*滑走券の条例上の上限は1,460円)

関東民間通年リンクの 料金設定 (すべて大人貸靴付料金)

※すべて民間施設、
余熱利用なし

- 三井不動産アイスパーク船橋 2,000円
- 埼玉アイスアリーナ 1,700円
- ガイドードリンクアイスアリーナ 2,200円
- 明治神宮アイススケートセンター 2,200円
- 東大和スケートセンター 2,200円
- 横浜銀行アイスアリーナ 1,900円
- KOSE新横浜スケートセンター 1,900円

4 参考資料

②-2 通年スケートリンク料金比較

国内公共施設の通年リンク料金設定

(すべて大人貸靴付料金) ※すべて余熱利用なし

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| • 新潟市アイスアリーナ | 1,500円 |
| • 月寒体育館スケート場（札幌市） | 880円 |
| • 星置スケート場（札幌市） | 880円 |
| • 盛岡市アイスリンク | 900円 |
| • 軽井沢風越公園アイスアリーナ | 1,100円 |
| • 滋賀県立アイスアリーナ | 1,700円（平日）
2,100円（休日） |
| • 大阪府立臨海スポーツセンター | 2,030円 |
| | 1,550円（16：00以降） |
| • 大阪府立浪速スポーツセンター | 1,800円 |